

永野金山の歴史を訪ねる

永野金山史跡を訪ねながら、金山ロードを楽しむことができる永野ウォーキング大会は、今年で四回目を迎えました。今年は二月十五日にあり、町内外から参加したおよそ七百人が永野金山史跡の旅を楽しみました。コース途中の梅園も楽しみのひとつで、梅の香りと淡いピンク色の花が参加者を歓迎します。

休憩所では、地元自治会婦人部手作りのがね（野菜とさつまいもの天ぷら）やお茶が振る舞われ、田の神様や西郷隆盛に装った接客、小学生の史跡ガイドなどで参加者をもてなします。コース周辺は、地元消防団や交通安全協会が参加者に危険がないよう警備にあたります。

参加者が年々増えるウォーキング大会は、こうした、史跡巡りの趣向を凝らした地域ぐるみのもてなしが、参加者にたいへん好評となっています。



史跡ガイドを務めた

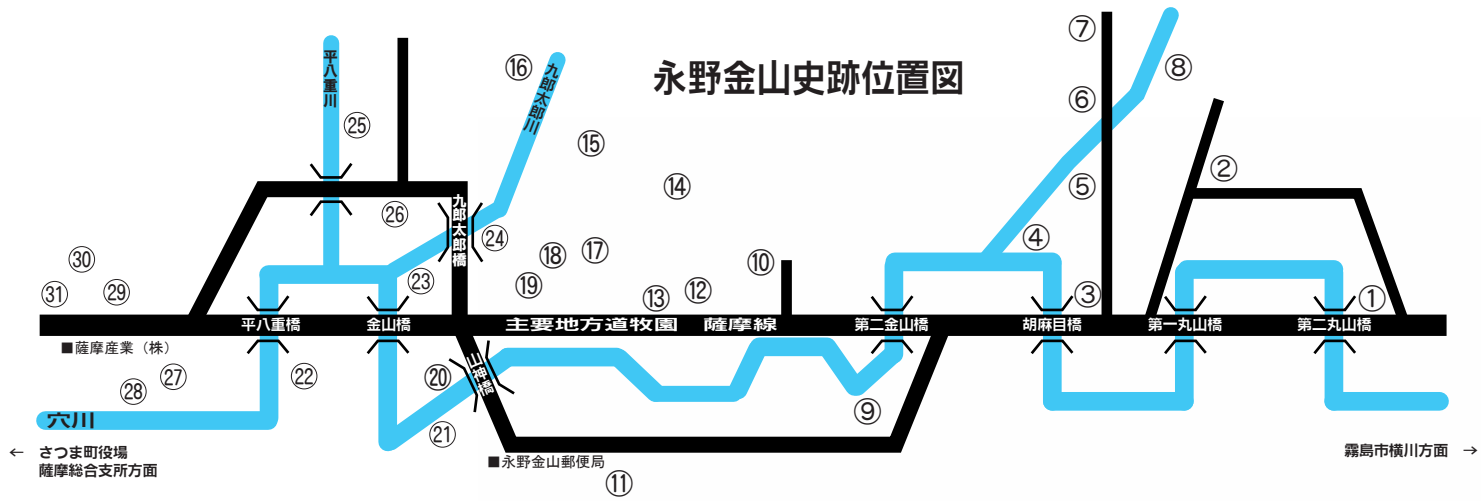
やなぎた 柳田あかねさん 永野小学校6年（左）
かみべつぷり 上別府裕莉さん 薩摩中学校1年（右）



永野ウォーキング大会



永野金山史跡位置図



永野ウォーキングに参加して



いちき串木野市
とくしげ つとむ のぶこ
徳重 勉さん(65歳)・信子さん(65歳)

日頃からこの地域の国道を通り、知っていたつもりですが、今日は地元の小道を歩いて楽しかったです。金山史跡は興味深く見学させていただきました。地域ぐるみで一体となった接待に感動しました。特に、小学生の案内や消防団の後方応援には驚き、感動を受けました。

興味深い金山史跡と地域ぐるみの接待に感動しました



出水市
はしくち ひとし じゅんこ
橋口 等さん(68歳)・順 子さん(60歳) 左
もり りょういち みえこ
盛 良一さん(68歳)・美恵子さん(63歳) 右

今日はグループで参加しました。こういった県内のウォーキングイベントによく参加しています。このイベントも新聞や霧島に行く途中の看板で知りました。梅の花もきれいですね。地域の接待も良く、梅干し、がね揚げも美味しかったです。またぜひ、参加したいイベントです。

梅の花もきれいで、またぜひ参加したいイベントです

位置番号	史 跡 名
1	弁慶の岩風呂
2	方柱六地藏塔
3	金山小学校跡
4	胡麻目坑口
5	坑夫風呂跡
6	内山与右衛門石碑
7	自稼掘跡（佐野宅）
8	自稼掘跡（辻松宅）
9	自稼掘跡（三浦宅）
10	若宮神社
11	金山倶楽部跡
12	金山公民館
13	安養院年行寺跡
14	自稼掘跡（野上宅）
15	秋葉神社
16	ため池跡
17	火薬庫跡
18	小鷹の滝

位置番号	史 跡 名
17	三番滝竪坑
18	三番滝竪坑入口
19	選鉱場跡
20	夜学校跡
21	恵比須さま
22	山神さま
23	金山分校跡
24	三番滝坑口
25	九郎太郎川橋脚
26	平八重川橋脚
27	料理屋跡
28	診療所跡
29	職員社宅跡
30	鉱業館跡
31	沈でん池
32	搗鉱所跡
33	製錬所跡



位置図番号24

鉱業館 跡

鉱業館は、明治41年6月（1908）に上棟され、2階建ての洋館で上級幹部の鉱山事務所として利用されていた。昭和28年の閉山に伴い、町が建物を譲り受け広橋に移築、中央公民館として利用されていたが、平成7年（1995）、診療所建設のための用地として取り壊された。この石垣は、石匠による城石積みで、100年以上経っている。



位置図番号24

鉄橋（九郎太郎川） 跡

旧栗野町国見から流れる九郎太郎川に架かっていた橋脚で、鉱山専用の鉱石運搬車が通っていた。初めは木橋であったが（明治40年頃）、運搬法が馬車から電車に変わったため（明治42年）、大正3年（1914）に鉄橋に架け替えられた。現在は、高い切石積の巨大な2本の橋柱のみが残っている。高さ24m。



位置図番号16

小鷹の滝

橋脚跡より600mほど九郎太郎川をさかのぼると美しい二段の小鷹の滝がある。この滝の水を永野小学校のプールまで引いて使用していた。滝の上流の小高・大高は九郎太郎川をはさんで向かい合うように立つ岩山で、自稼掘跡が多く残っている。小鷹の滝の少し手前には昭和55年頃掘られた新鉱山の坑口も残っている。中は途中で崩れているため危険である。



位置図番号13

トロッコ鉱石運搬道 跡

鉱石の運搬にトロッコを用いており、そのレールがあった場所。胡麻目坑及び三番滝坑の大通洞には25ポンドレール（1ポンド＝0.453kg）を敷設して、1トンの積み鋼鉄製トロッコを数台連結し、馬に引かせて搬出していた。また、多量の鉱石を処理する搗鉱所までの約1.5kmも胡麻目坑口から鉄鋼車を馬に引かせ運搬していた。



位置図番号4

胡麻目坑口

胡麻目坑内は、百尺毎に基幹水平坑道が掘られ、その支坑の鉱石を鉱車に積み、竪坑や斜坑を利用して、六坑道から鉱石の搬出をしていた。坑内には、事務所、火薬庫、コンプレッサー室、竪坑、斜坑の巻揚場、下坑道には多くの水汲揚ポンプ室などの施設が要所に設けられていた。坑口には、変電所やコンプレッサー設備、鍛冶屋、事務所などがあった。